

2013年ITS世界会議開催地が東京に決定

横浜、愛知・名古屋に次いで、日本で3度目のITS世界会議開催

本日(5月7日)、韓国の釜山で開催されたITS世界会議理事会において2013年の第20回ITS世界会議の開催地が、東京に決定しました。

ITS(Intelligent Transport Systems)世界会議は、最先端の情報通信技術を活用した交通システムに関して、ITSに関係する世界各国の政府、学界、民間企業、団体等が一堂に会して、セッション、論文発表、講演、技術展示、ショーケース、ITS施設の現場見学等を行うもので、1994年にパリで第1回が開催されて以来、ヨーロッパ、アジア・太平洋地域、北米の順番で毎年開催されています。

特定非営利活動法人ITS Japan(会長:豊田章一郎)(以下、ITS Japan)は、アジア・太平洋地域の代表として、ITS America(米国)、ERTICO(欧州)とITS世界会議を毎年共同開催しております。

日本においてもITSの応用範囲は道路、交通、車輛、情報通信等広範にわたっており、関連省庁をはじめ産官学の協力の下に実施されている国家的プロジェクトがあり、自動車関係企業はもとより、インフラ整備関係や情報産業を中心に多種多様な業種が参入しております。ITS世界会議はITSの世界的な最新情報を得ると共に、将来の交通システムの方向性を議論する絶好の機会になるものと確信しております。

2013年のITS世界会議の開催地は、アジア・太平洋地域の順番となっており、東京以外にメルボルンとシンガポールが立候補しましたが、本年3月に実施したアジア・太平洋地域における「選定委員会」(世界会議の理事会メンバーのうち、アジア・太平洋地域の14名で構成)にて、アジア・太平洋地域として東京が選定されました。この選定委員会では、会議の基本計画、関係者の支援、開催都市でのITS状況・今後の計画、会議開催により期待される効果、ショーケースの内容、更に施設面、治安・安全性、交通アクセス、実行体制、予算計画等、多岐にわたる評価項目にて審議し、東京は特に次世代ITSの方向性を示唆するショーケースが実施できること、また産業界をはじめ多くの参加者を得られること等が優位とされ、総合的な評価で選定されました。

この結果を受け、本日(5月7日)、来年のITS世界会議開催地である韓国釜山で開催されたITS世界会議理事会にて、2013年のITS世界会議の開催地は東京と正式に決定されました。

現在、わが国では、2006年1月に政府のIT戦略本部が策定した「IT新改革戦略」のなかで掲げられた「世界一安全な道路交通社会の実現」に向け、官民一体となって「インフラ協調による安全運転支援システム」の開発と実証実験を行っており、本年2月には東京のお台場にて公道での一般向け試乗会等の公開デモンストレーションも実施いたしました。本システムは2010年以降実用化され、全国へと展開される計画であります。

また、政府の総合科学技術会議が司令塔となり、関係府省が融合し、産官学連携の下で「社会還元加速プロジェクト」が推進されていますが、そのテーマの一つに道路交通システムが掲げられております。このプロジェクトでは、「ITS実証実験モデル都市・モデル路線」を選定し、ITSを活用して環境にやさしい交通社会の実現のために、2012年までに先導的な技術、施策にて、ITS利用の先進事例を国民に見える形で示すと共に全国に普及させる取り組みがなされています。

2013年のITS世界会議は、このような日本の最先端のITを活用したITSの成果を広く世界に向けて発信する場でもあります。

2013年ITS世界会議の東京開催の決定を受け、ITS Japanでは、東京都を始め、関係省庁、関係団体、学界等と協力し、本年6月に基本計画の策定のための準備委員会を立ち上げ、2010年10月に『第20回 ITS 世界会議東京2013日本組織委員会(仮称)』を設立する予定です。

この件に関する問い合わせ先: 特定非営利活動法人 ITS Japan

TEL:03-5777-1012 FAX:03-3434-1755